

令和2年度 第4回 こども部会 会議録

【日時】 令和3年2月17日(水) 13:30~15:00 美馬市役所 南館201

【参加者】 発達障がい者総合支援センターアイリス、池田学園、半田中学校、美馬市長寿障がい福祉課
美馬市保険健康課、美馬市教育委員会教育研究所、つるぎ町福祉課、つるぎ町教育委員会
ピース、障害者支援センター小星園、障害者支援センターかしがおか、相談支援センターイノセント

【会議録】 相談支援センターイノセント

<会議内容>

1. 医療的ケア児に対する支援体制について

① 医療的ケア判定スコアについて

- ・令和3年度障害福祉サービス等報酬改定で医療的ケア判定スコアが改定される。こども部会では、医療的ケア判定スコア(新)の項目に一つでも該当することもがれば検討の対象とする。
- ・対象児の定義は、医療的ケア判定スコア(新)に該当することもと療育手帳(A1かA2)と身体障害者手帳(1級か2級)の両方を取得していることも。

② 台帳について

- ・台帳化に向けて同意書を作成する方向だったが、収集する個人情報の範囲、同意書の取り方など同意書の作成や取り扱いについて難しさを感じている。

<台帳の必要性について協議>

- ・台帳の目的を明確にした方が良いのではないか。
- ・台帳を作成しても保護者のメリットになる事が少ない。情報を管理するよりも個別のケースで解決に向けて全体で協議していったらどうか。
- ・災害時要援護者登録者が少ない事が課題ではないか。
- ・情報が少ない方への対応はどうするか。
- ・支援体制について協議をしていく中で状況把握が必要だが、個人情報の取り扱いなどの課題が出てくる。他の圏域では市町村主体で協議をしている所があり、各機関の責任者レベルの会を開催したらどうか。例えば、西部圏域2市2町(美馬市・つるぎ町・三好市・東みよし町)で検討していくのはどうか。
- ・現場レベルのケースについてはこども部会で検討していったらどうか。

<今後の方向性>

- ・こども部会以外の会で医療的ケア児の支援体制を検討していくことについて、自立支援協議会定例会、全体会に報告をし、協議会から市町村に提案して頂く。

2. 特別支援学校スクールバスについて

- ・美馬市教育委員会より、県教育委員会にスクールバス希望者数を報告したが、こども部会からも報告を行った。県教委からは、要望書を提出する場合は予算編成がある為、夏までには提出してほしい。要望書提出の前に相談をしてほしい。県の方も希望する児童が乗車できるよう努めているので理解していただきたいとの回答。
- ・今後は、毎年希望者の人数報告はせずに、乗車できない児童がいる場合に電話等で状況を説明する方向になる。

3. こども版障がい福祉のしおりについて

①修正箇所

P1 美馬市保険健康課(美馬市子育て世代包括支援センター)の文言追加

P9 サービスの使い方(相談支援利用の流れ)

P10 相談支援事業所の情報

P13 通所支援事業所の情報

P22 訪問看護ステーションのページを追加

P36 障がい児福祉手当・特別児童扶養手当の支給金額

P38 就学に関わる相談(美馬市)

P40 母子保健事業(美馬市)

P44 つるぎ町立半田病院 診察曜日・時間

P13~P18 情報の引用元を記載(ページ右下)

全体的にレイアウトも変更。

・修正して、ホームページに掲載する。

*次回 4月21日(水)13時30分~